

期待したい

太陽光発電

【以】前から太陽光発電の開発と普及に力を入れていた日本は、長らく世界一でした。特に2000年頃までは、欧州全体より日本一国の方が発電量が多く、2004年頃には世界の約半分の太陽電池を生産していましたが、2005年に助成金が終了したのを境目に、2008年には世界シェアは18%まで急速に低下しました。逆に、ドイツは電力会社への倍価買取の義務付け制度導入などの国を挙げての支援で、2005年以降、太陽光発電の導入量で世界首位となりました。

【そ】れで今年1月からは、家庭用太陽光発電設備に対して国、自治体からの助成金が復活しました。国は7万円/KW、自治体では東京都の場

合10万円/KW(上限100万円)、新宿区の場合18万円/KW(上限80万円)です。

【加】えて経産省が2010年度に太陽光発電による電力を電気事業者が1KW h当たり約50円という高値で買取ることを義務付ける仕組みを検討していると発表しています。

【標】準的な3KW装置を設置したとすると、設備費に200万円以上かかりますが、新宿区でなら国と都を含めた補助金で約半分補てんできます。その上、年間約3000KWの発電とすると光熱費の約6割が節約となり、5年以内に初期費用を回収できる計算になります。

【新】税制にも太陽光発電装置設置への支援制度として

居住用家屋についての三種類のリフォーム減税があります。

【一】つ目は一般の住宅ローン減税で、10年にわたり毎年ローン年末残高の1%が所得税及び住民税から控除されます。

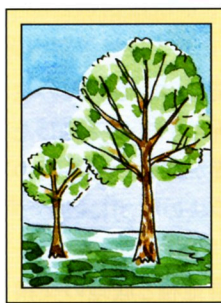
【二】つ目は特定の住宅ローンの減税で、省エネ改修工事の証明書類の添付できる費用部分(200万円が限度)とその他の改修工事費用に係る住宅ローン年末残高(最高1千万円)につき、省エネ部分は2%、その他は1%を5年間にわたり所得税から控除されます。

【三】つ目はローン不要減税で、太陽光発電装置設置費用を含む省エネ改修工事費用(300万円が限度)の10%を所得税から控除されます。

【な】お、この二種類のリフォーム減税は、選択ですので、重複して控除することはできません。

岸辺のコスモスが風にゆれ、澄み切った青空の下、墨田の川面に触れ太鼓が響く。両国は大相撲九月場所。本場所で土俵に撒かれる塩の量は、日約30キロ。塩は普通の塩だが、水をかけて少し固めてあり、「清める」という神事の邪気祓いで、実際擦り傷程度は殺菌になるといいます。

「貧にして孝なる相撲負けにけり 虚子」
7日白露、23日秋分。



すばしこい人間は学問を軽蔑し、
単純な人間はそれに感嘆し、
賢い人間はそれを利用する。

(イギリスの哲学者 ベーコン)

9月の税務メモ

(国税)

- 8月分源泉所得税の納付(特例適用者を除く)
- 7月決算法人の確定申告
- 22年1月決算法人の中間(予定)申告

10日
30日
〃

(地方税)

- 8月分個人住民税特別徴収分の納付
- 7月決算法人の確定申告
- 22年1月決算法人の中間(予定)申告

★法人税予定納税額が10万円以下は申告省略です。